

地域を愛するのびのび服間っ子

越前市服間小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	5回 (のべ) 5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	40人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	11人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ	「ふるさと教育」
-----	----------

具体的活動内容

服間小では、2年前から全校で地区文化祭に参加し、地域行事に深く関わることを通して、児童のふるさとを愛する心の育成を目指している。

10月30日には、ふくま振興会によるふくま総合文化祭が行われ、全校児童が「服間っ子バザー」での出店や「ステージ発表」に参加した。バザーでは、育てたサツマイモの販売体験、とうもろこしで作ったポップコーンの販売体験、家庭で使わなくなったもののフリーマーケット、自家製味噌の販売体験など、児童にとっては貴重な体験となった。

4年生は、総合的な学習の時間で環境について学んだことをもとに、家庭で使わなくなったものを全校に呼びかけて集め、フリーマーケットを出店した。フリーマーケットでは、商品をペットボトルキャップと交換したり、ごみの分別に関するクイズを出したりした。他の学年の児童や保護者が多く訪れ、リサイクルについての意識を高めていた。



6年生は、総合的な学習の時間に地域で活躍している人について調べ、まとめたものを「服間の名人知ってる会」としてステージ発表した。「朽飯八幡神社」「しきぶ太鼓」「染物」「豆腐作り」「農業」に携わる人々の苦労や工夫についてわかりやすく発表していた。

成果と課題

地域学校協議会の委員には、振興会長、公民館長、民生委員長、振興会青少年育成部長、さらに青少年育成部委員の方々に入っただいており、この活動を行ううえで多大なご協力をいただいた。児童は、地区文化祭に協力し、来場者に喜んでもらったり、文化祭を盛り上げたりしたことがうれしかったようである。このような活動を続けていくことによって、地域の一員としての自覚や誇りを持つようになってきている。今後はさらに自治振興会や公民館と連携して、文化祭以外の行事への参加を検討していきたい。